

# ”恵み多き島”江田島にランドマーク的な施設を造ろう

大型遊具を中心とした3世代が交流できる公園づくり



江田市

え  
た  
しま  
恵み多き島

# ”恵み多き島”江田島にランドマーク的な施設を造ろう



大型遊具を中心とした3世代が交流できる公園づくり

出口 若菜

## 活動概要

### 活動の内容

昨年度の地域探究で交流する場が少ないという課題が挙げられました。

7月 大柿高校内で江田島市内の公園の認識のアンケートを行いました。タカオ株式会社の担当者からタカオ社製の遊具についての説明を受け、同社のカタログを送付していただきました。江田島市都市整備課を訪問し、江田島市の街づくりについて講義をしていただきました。

8月～9月 各公園を訪問し、東広島市、竹原市、呉市の担当者に趣旨を説明し、アンケートを行いました。

11月 文化祭にて成果の発表をしました。

12月 江田島市役所に活動報告(予定)

### 活動の特徴(新規性・発展性)

今回の活動は、「実際に見る」「体験する」「深く考える」ことを意識しました。まず、江田島市都市整備課の職員の方に江田島市の街づくりについての講義を受けました。次に、近隣市の大型公園を実際に見に行きました。各市の公園についての考え方や設置する目的、職員の思い等をアンケート形式で回答していただき、新設公園のイメージ作りの参考としました。夢物語ではなく実際に採用してもらえるような公園を目指します。

### 活動の成果

まず、私たち自身が江田島市の街づくりに対して関心を得たことです。また、街づくりといっても、江田島市や他市の話聞く限り、方法は一つではなく、色々な考えや検討の上で執行されていることが分かりました。現在開発計画中の大柿町大君地区の旧紡績工場跡地の利用計画として「大型遊具を中心とした3世代が交流できる公園づくり」という内容で、江田島市へ設置提案をします。

## 課題の設定と意図

私たちが取り上げたテーマは、「大型遊具を中心とした3世代が交流づくり」です。昨年度の地域探究にて、江田島市に交流する場が少ないという課題が挙げられました。また、私が幼い頃遊んで思い出に残っている公園は、市外の公園(呉ポートピアパーク等)ばかりです。江田島市に、家族みんなで楽しい思い出が作れるような公園があればいいなと考えました。江田島市内の公園には、小さな子供が興味を引くような大型遊具は備えておらず、既存の公園を目的として市外から江田島市に来ていただくにはインパクトが弱く感じました。幼児から小学生を主対象とした大型遊具を中心とした公園を造ることにより、その保護者や祖父母を集客することにより、三世代が交流できる公園(場所)が実現できるかどうかを考察しました。そして、その公園を目的として、江田島市外から多くの人を呼び込み、市内の人と交流していただき、江田島で家族みんなで団らんし楽しい思い出を作っていただきたいと考えました。また、江田島市内唯一の高校である大柿高校の学生の視点から街づくりの提案を江田島市にすることにより、「街づくりの一助」になればと考え、この課題を選びました。

## 課題解決のための仮説と計画

大型遊具を中心とした公園といっても、具体的な規模や内容を江田島市役所の方にどのように伝えればよいか初めは分かりませんでした。そこで、どのような公園を造るか、造る過程でどのような問題点があるか等、採用してもらえるような提案を江田島市役所の方にすることを最終目標としました。

まず初めに、江田島市内には長時間遊べるような公園はないという仮説のもと、江田島市内の公園の認識について校内でアンケートを採りました。

2番目に、江田島市の街づくりを認識するために、江田島市都市整備課の方に江田島市の現状について講義をしていただきました。そして、実践活動の結果報告をしたことを伝えました。

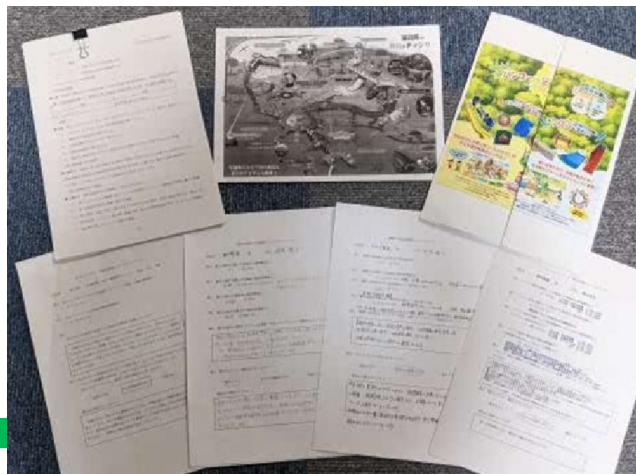
3番目に、公園の具体的な規模、イメージを確定させることを考えました。

- ① 公園の設置場所は、江田島市に寄付され、活用方法を模索されている大柿町大君地区にある旧紡績工場跡地を想定しました。
- ② 設置する大型遊具は、全国でも導入実績があり、広島県福山市に本社のあるタカオ株式会社の遊具を想定しました。
- ③ タカオ社製の大型遊具導入実績のある東広島市の「湖畔の郷福富」、竹原市の「ピースリーバンパー総合公園」、呉市の「呉ポートピアパーク」の視察を行いました。特に、「湖畔の郷福富」は、道の駅も併設されており、新設公園の全体的なイメージとしました。
- ④ 公園設置のため、具体的な予算や公園に対するコンセプト、担当者の思い等について、東広島市、竹原市、呉市にアンケートを実施しました。
- ⑤ アンケートを採りまとめ、新設公園の具体的なイメージを作成しました。

4番目に、公園の建設のメリット、デメリットの検証、仮に公園ができた後の様々な問題の検証を行いました。

5番目に新設公園を江田島市の交流のためにどのように生かしていくかについて検討しました。

最後に、出来上がった内容を江田島市役所の方に提案します。





## 活動で工夫できたこと

慣用句に、「百聞は一見に如かず」という言葉があります。今の世の中は、情報機器が発達し簡単に知りた  
い情報にふれることができます。情報機器で得た内容だけで、あたかも知ったような感覚に陥りやすいと思  
います。今回の活動でも、各市の公園の情報も写真付きで収集することができました。通常の活動であれば、こ  
こで終わりです。しかし、今回の活動では、情報機器の中の情報にとらわれず、実際に各公園に足を運び自  
分の目で見て、体験して、考えることに重点を置きました。車で来場することを想定し、駐車場の大きさは  
どうか。車の侵入は難しいか。小さな子供が駐車場から公園に入る導線に危険はないか。公園で遊んで  
いる人はどんな世代の人がいるか。設置している大型遊具は遊びたいと思える遊具かどうかなど。

特に「湖畔の郷福富」は、道の駅が併設されています。道の駅にどんな商品が置いてあるのか。お客さん  
は、どういった商品を手にとっているのか。この地域でしか購入することができないような商品が置いて  
いるかなど、そういった点を確認しました。私は、当地限定のアイスクリームと出来立てのパンを購入し  
ました。情報機器の中の写真では、感じることでない公園の大きさや利用している人の生の声を聞き、美  
味しいものを食べることで、自分たちが思い描く公園をより強くイメージすることができました。

その後、各公園の設置自治体の担当者の公園に対するコンセプトや思いを聞くことにより、仕事  
に対する思いや情熱を知ることができました。また、大型遊具製作者のタカオ株式会社の担当の方  
の遊具に対する思いや安全性に対するこだわり等を聞くことにより、一つの施設を完成させるた  
めに、たくさんの方の思いや考えの上に成り立っていることを知りました。自分の目で実際に  
見てきたことで、色々な方の意見がより身近に感じられ、自分の中で考えを深めることが  
できました。



## 活動で得た学び・気づき

私たちは、抽象的な内容をいかに具体化し、それを相手にどのように伝えればよいかということに苦心  
しました。例を挙げると、大型遊具といってもどんな物なのか。公園は、ど  
ういった公園にするのかなど。まず、自分たちの中で具体化することを考えました。企画書作成の前  
に江田島市がどういった街づくりを行っているか学習するため江田島市都市  
整備課を訪ね、指導していただきました。街づくりにおいて、1つ施設を作るにしても様々な制約  
があることが分かりました。その上で、江田島市都市整備課の方が造ってみたい  
と思えるような公園の提案を分かりやすく伝える資料作りが大事だと再認識しました。大型遊具のイ  
メージを掴むため、設置者のアイデアが反映できる遊具を造ることで全国的  
に導入の実績があり、広島県福山市に本社があるタカオ株式会社さんに助言をいただきました。タ  
カオ株式会社製の遊具は、近隣の市でも導入されています。設置事例  
のある東広島市の「湖畔の郷福富」「龍王山公園」、竹原市の「ピースリーバンパー総合公園」を  
参考にしました。特に、「ピースリーバンパー総合公園」は、竹原市のイメージ  
である竹や竹の子をモチーフにした遊具を製作しています。江田島市も、オリーブや牡蠣などの  
特産品を前面に出してアピールしていきたいと考えているので、非常に参考になりました。新設  
公園のイメージを掴むため、公園の設置場所は、大柿町大君の旧紡績工場跡地としました。新設  
公園のイメージは、道の駅を併設している「湖畔の郷福富」としました。続いて、新設公園を具  
体的にイメージするために先に挙げた3つの公園と呉市にある「呉ポートピアパーク」を実際  
に訪れて、視察しました。実際に現地に足を運ぶことにより、自分の目で見て、体験することが  
非常に重要であることを学びました。また、4つの公園の設置自治体に公園開設時の経緯、維持  
管理費、アドバイス、担当者の思い等をアンケート形式にて回答していただきました。具体的  
には、公園開設には、約15億円程度、大型遊具の設置費用は、公園の約1億円程度、維持管理  
費として年間1千万円から2千万円の多額の費用がかかることが分かりました。しかしながら、い  
ずれの自治体も維持管理の支出に悩みつつも、建設して良かったと好意的に受け止められて  
います。また、公園を造ることも大事ですが、造った公園をいかに維持管理していくか、どのよ  
うに街づくりへ活用していくかという問題提起もされました。これらのことに気をつけつつ、  
江田島市大君の旧紡績工場跡地に大型遊具を中心とした3世代が交流できる公園を造るという  
内容で江田島市に提案を行います。

## 今後の展望・新たな取組み

大柿町大君地区は、江田島市の陸路の玄関口にあたり、新設公園で遊ぶだけで帰られると、江田島  
市の活性化という視点から考えると効果は限られます。江田島市全体を周遊してもらうことが  
望まれます。そのため次のような施策を考えています。

①新設公園で遊ぶことを第一の目的として、新設公園で遊ぶついでにいろいろな体験をしてもら  
います。例えば、春は、「公園で遊んで」お花見やいちご狩り。夏は、「公園で遊んで」海水浴や  
カヌー、SUP体験。秋は、「公園で遊んで」オリーブの収穫やみかんマラソン。冬は、「公園で遊  
んで」牡蠣やみかん狩り。そういった形で、1時間でも長く、また、何度でも足を運んでもら  
えるような企画づくり。

②大型遊具を設置している公園のターゲットとしている幼児から小学生は、乗り物が好きな子  
が多いと思います。広島港から江田島市まで船で約30分、呉市から江田島市まで船で約20分、  
島という環境を活かした船という非日常的空間の演出。その演出を後押しするため、江田島市  
内で一定のお土産等の金額を利用した方、あるいは、江田島市内での宿泊者に対し、乗船  
割引制度等の創設による船の利用促進等。

③何度も江田島市に足を運んでいただき、江田島市の魅力を知ってもらうことにより、日  
帰りの短期利用者から江田島荘をはじめとする宿泊者の長期利用者への変革を期待

今回私たちが提案した内容では、公園整備等に10億円近い費用の捻出が考えられます。江田島  
市内にある鹿田公園(沖美町)、江田島市総合運動公園(大柿町)、能美運動公園(能美町)とい  
った既存の公園に大型遊具だけを設置しても1億円近い費用の捻出が必要です。

私たち学生は、公園建設への盛り上げ、クラウドファンディング、募金活動などのお手  
伝いをしたいです。

私たちは、今回の活動の提案に対して江田島市役所の職員の方はもちろんですが、タカオ  
株式会社の担当者、他の市役所の職員の方にも真摯な対応をしていただきました。一生懸命  
課題に向き合うことによって、色々な方とつながりを持ち、貴重な意見を聞く機会を得まし  
た。職種や住んでいるところに違いがあっても、街づくりや街の活性化に対し同じような  
悩みや情熱を持っていることを知りました。今は、学生の身分で、勉強の一環として活動  
しているので、こうした真摯な対応をして下さったのかもしれない。しかし、将来自分が  
就職して仕事として調査やアドバイスを受けるような立場になっても、今回と同じように  
真摯な対応をしてもらえる大人になる努力をしていきたいと思ひます。また、逆の立  
場で、調査やアドバイスをする側に立った時も、面倒くさらずに、今回対応していただ  
いた江田島市をはじめ各市の職員の方のように、真摯な対応ができる大人になりたい  
です。こうしてできた、一つ一つの出会いを大切に、私自身が人と人との橋渡しができる  
ような大人になりたいです。

## 1. 地域探究アワードエントリー情報

エントリー希望	有	エントリー単位	個人	ブロック	中国
グループメンバー	氏名①			氏名③	
	氏名②			氏名④	

## 2. オリエンテーション合宿及び実践活動の基本情報

合宿実施先	国立江田島青少年交流の家	修了日	2021/9/1	カリキュラムのタイプ	A
フィールドワークの内容	カッター研修やフィールドワークで瀬戸内いとなみ舎へ訪問し、そして、その課題や問題点、解決策などをグループでまとめて、発表しました。出たアイデアを瀬戸内いとなみ舎に提案させていただきました。				
実践活動期間	2022/5/11 ~ 2022/11/20				
活動のタイプ	発展的な活動				
協力者	主な協力者			協力内容	
	所属	大型遊具の設備		大型遊具等について話をしました。	
	氏名	タカオ株式会社の方			
	所属	都市整備課		都市計画の説明や意見交換をしました。	
	氏名	江田島市役所の方			
	所属	土木総務課、都市整備課、ブランド推進課など		アンケートをお願いしました。	
氏名	呉市、東広島市、竹原市の市役所の方				
協力者総数	8名				

## 3. 実践活動の記録

(1)総活動日数 全 21 日

事前:準備・打合せ	9日	本番:メインの活動	6日	事後:ふりかえり・報告	6日
-----------	----	-----------	----	-------------	----

(2)活動成果の発信等

媒体	方法	回数	概要・備考
その他	自ら発信	1回	12月に江田島市役所に提案を行う日程を調節中です。
その他	取材された	1回	私たちの活動に興味のあるとおっしゃった呉市役所の方に、発表の内容を送りました。
その他	自ら発信	1回	昨年度に引き続きオリーブの収穫を手伝い、地域の方に今回の活動の発表を行いました。

(3)主な活動記録

活動日時	区分	活動場所	活動内容
7/13 ~ 7/13	①事前学習・打合せ等	大柿高校	大柿高校内で江田島市内の公園の認識のアンケートを行いました。
7/19	②実践活動本番	江田島市役所	江田島市都市整備課の職員の方からの講義、意見交換をしました。
8/31 ~ 9/12	②実践活動本番	大柿高校、郵便局	各市の担当者に趣旨を電話で説明し、アンケートを送付し、回収をしました。
	①事前学習・打合せ等	東広島市、竹原市、呉市、江田島市の公園	実際に公園に行き、体験し、様子などを実感しました。
11/1	②実践活動本番	大柿高校	文化祭の時に、私たちの実践活動について発表しました。